

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
都市生活環境論	2	前期	2	全学共通・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(たかす なおこ) 高須 直子	授業支援システム:ユニブルー ブ(イツククラス)を活用します。			

(英文科目名 Urban Life Environment)

授業の概要

住まいの環境に関わる事例を様々な観点から考えます。講義を中心に進めますが、内容確認のために、小レポート(演習)・小テストを課します。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(2)、すなわち、教養教育(ネオ・リベラルアーツ)を環境理解の側面から学ぶ科目として位置づけられます。快適な住生活・都市生活を営む上で大切な気候・風土、都市環境、室内環境、インテリア、住まいの安全について学び、住生活における快適性を学びます。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1)知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	○	衣食住の「住」の基本的な内容を理解することができる。
(2)汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	○	「住」の基本的な内容を理解したうえで、自分にとって何が適切かを表現することができる。
(3)態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。	○	「住」の基本的な内容を理解したうえで、実生活に生かせるように提案することができる。
(4)総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。		

授業の方法・講義手法の概要

講義

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修/事後学修
1	ガイダンス	事前学修: 科目内容に関する事柄を調べる(90分) 事後学修: 自宅の住環境・設備を調べる(90分)

2	住まいに関わる環境	事前学修: 自宅の住環境・設備についてのレポートを作成する(90分) 事後学修: 2 回目講義にて学んだ内容を復習する(90分)
3	住まいと住居環境①～高気密・高断熱～	事前学修: 住居環境に関する新聞・資料を読む(90分) 事後学修: 3 回目講義にて学んだ内容を復習する(90分)
4	住まいと住居環境②～結露～	事前学修: 住居環境に関する新聞・資料を読む(90分) 事後学修: 4 回目講義にて学んだ内容を復習する(90分)
5	住まいと住居環境③～空気線図の読み方・演習～	事前学修: 住居環境に関する新聞・資料を読む(90分) 事後学修: 5 回目講義にて学んだ内容を復習する(90分)
6	住まいと住居環境④～換気～	事前学修: 住居環境に関する新聞・資料を読む(90分) 事後学修: 6 回目講義にて学んだ内容を復習する(90分)
7	住まいと住居環境⑤～音・光・振動～	事前学修: 住居環境に関する新聞・資料を読む(90分) 事後学修: 7 回目講義にて学んだ内容を復習する(90分)
8	住まいの衛生と安全	事前学修: 住まいの安全に関する資料を読む(90分) 事後学修: 8 回目講義にて学んだ内容を復習する(90分)
9	中間試験	事前学修: 1～8回目までの演習の見直し(90分) 事後学修: 返却後に解答の直し
10	住まいの省エネルギー	事前学修: 住まいの省エネとは何か調べておく(90分) 事後学修: 10 回目講義にて学んだ内容を復習する(90分)
11	住まいのサステナビリティ	事前学修: サステナビリティについて調べておく(90分) 事後学修: 11 回目講義にて学んだ内容を復習する(90分)
12	ひとにやさしい住まい①	事前学修: ひとにやさしい住まいとは何か調べて考えておく(90分) 事後学修: 12 回目講義にて学んだ内容を復習する(90分)
13	ひとにやさしい住まい②	事前学修: インテリアにおいて、ひとにやさしい住まいとは何か考える(90分) 事後学修: 13 回目講義にて学んだ内容を復習する(90分)
14	全体の振り返りと確認	事前学修: 1～13 回目講義プリントの

		見直し(90分) 事後学修:14回目講義にて学んだ内容を復習する(90分)
15	まとめ、振り返り	事前学修:1~14回目の演習の見直し(90分) 事後学修:1~14回目講義プリントを見直し(90分)

成績評価の方法・基準

受講態度・参加度(20%)、テスト(50%)、課題・レポート(30%)により総合的に評価します。
授業は全て出席することが前提であり、出席点は評価しません。毎回の授業態度を重視します。

指定教科書

なし

参考文献等

空気調和・衛生工学会編「健康に住まう家づくり」オーム社
小澤紀美子編「豊かな住生活を考えるー住居学」彰国社

履修上の留意点

講義を中心に進めます。回によっては、授業内容確認のための演習や、小テスト、小レポートを実施します。(講義内で指示します)

生活空間の快適性(高須直子担当)との同時履修はしないでください。

実務経験